



広 い 心

学校便り 6 号

令和 8 年 6 月 24 日

宮古島市立 狩俣小学校

発行者：校長 喜屋武真史

海神祭 ～地域と学校が連携し子供を育て 育った子供が地域を創る～

6月 18 日(木)、狩俣地区の3大行事の一つ「海神祭」が行われ、狩俣小も子供たちと教職員の全員で参加することができました。事前学習では児童が、「自分たちにもできる形で海神祭を盛り上げたい」と、5, 6年生は、「集落の入り口に掲揚する『大漁旗』を、航海安全と豊漁を願いながら制作しました」3, 4年生は、「当日の会場用の『大漁旗』を海神祭を盛り上げ成功させたいという気持ちを込めて制作しました。」1, 2年生は、「当日、会場で頑張ってハーリーの船を漕ぐみなさんを応援し盛り上げようと、かわいい手作りハッピーを制作しました。」どれも狩俣の子供たちの想いが込められ、素敵に仕上がっていました。

また、「みんなの海神祭にしたい」という狩俣勝紀自治会長の想いがあり、会長と5, 6年児童の話し合いによって、「ちびっこ相撲」「ビーチフラッグ」「じゃんけん大会」を実施することになりました。本番では、子供たち自身がプログラムを楽しむとともに、会場を大いに盛り上げることもでき、企画は大成功でした。

「自分たちが考えた企画で、地域行事を盛り上げることができた」という成功体験から得る、自己効力感・自己有用感は、子供たちの生涯にわたり自信の源になると思います。

「地域と学校が連携し子供を育て 育った子供が地域を創る」という言葉があります。狩俣小の子供たちが地域の伝統や文化を大切に、未来の狩俣地域をよりよく発展させていくのが楽しみです。地域(保護者)の皆様、子供たちに「楽しい思い出」と「体験から得る自信」を本当にありがとうございました。



「まってました」プール開き



6月 24 日(水)、プール開きを行いました。暑い季節になり、水泳の授業を待ち遠しく感じていたであろう子供たちの「はやる気持ち」を抑え、まずは、朝会で体育委員の勝久さんと穂奈美さんから、各学年の「めあて」や「プールの決まり」について説明がありました。そして、体育主任の満広先生から安全について大事なところの再確認をしています。

校長あいさつでは、「水泳の学習の良さは、泳げるようになることだけではない。努力が成長に繋がる実感が得やすいので『できなかったことができるようになった』喜びを味わうことができる良さがある」色々なことを乗り越えていく人になってほしい」とエールを送りました。

自分の力が伸びていくのを楽しみながら取り組んでほしいです。

